



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 林兼産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2286 URL <https://www.hayashikane.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中部 哲二
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部総務部長 (氏名) 熊澤 英俊 (TEL) 083-266-0210
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	35,619	△10.2	1,596	56.4	1,851	45.2	1,347	37.7
2025年3月期第3四半期	39,645	5.3	1,020	△13.9	1,275	△8.1	978	△9.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,781百万円(112.0%) 2025年3月期第3四半期 840百万円(△41.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	161.67	—
2025年3月期第3四半期	114.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	31,829	13,158	41.3
2025年3月期	27,632	11,791	42.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 13,158百万円 2025年3月期 11,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	48,000	△2.6	950	△11.7	1,150	△15.7	800	△24.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	8,910,000株	2025年3月期	8,910,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	743,706株	2025年3月期	461,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,337,670株	2025年3月期3Q	8,581,965株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、景気は緩やかに持ち直しております。しかしながら、食品業界におきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの高止まりなど、依然として先行き不透明な厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは2024年4月にHayashikaneだからできる『生きる力』のジャンルトップを目指し「中期経営計画Challenge2026」（2025年3月期～2026年3月期）を策定いたしました。これまでの中期経営計画の成果を基に「新たな構造改革」と称して、資本コストを意識した経営実現、収益構造の見直し、生産体制および設備の最適化、安定配当の継続、将来に向けての投資等を実行してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより356億19百万円（前年同期比10.2%減少）となりました。損益面におきましては、自社ブランド「霧島黒豚」の農場肥育成績の改善、ならびに効率的な養魚用飼料の原料調達および生産性向上による利益率の改善などにより、営業利益は15億96百万円（前年同期比56.4%増加）、経常利益は18億51百万円（前年同期比45.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億47百万円（前年同期比37.7%増加）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①食品事業

機能性素材におきましては、原材料価格高騰に伴う価格改定により、増収となりました。

加工食品におきましては、レトルト商品の取り扱い量を減らしたことなどにより、減収となりました。

肉類におきましては、豚肉の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

これらにより、売上高は174億65百万円（前年同期比0.5%減少）となりました。損益面におきましては、「霧島黒豚」の農場肥育成績の改善などにより、セグメント利益（営業利益）は7億24百万円（前年同期比86.3%増加）となりました。

②飼料事業

配合飼料におきましては、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

水産物におきましては、取り扱い量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は181億50百万円（前年同期比17.7%減少）となりました。損益面におきましては、効率的な養魚用飼料の原料調達および生産性向上による利益率の改善、ならびに水産物の生産原価低減および相場堅調による利益率の改善などにより、セグメント利益（営業利益）は16億82百万円（前年同期比19.1%増加）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は318億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億96百万円増加しました。流動資産の増加（前連結会計年度末比38億54百万円増加）は、主に現金及び預金が6億43百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が48億39百万円増加したことなどによるものであり、固定資産の増加（前連結会計年度末比3億42百万円増加）は、主に有形固定資産が1億56百万円減少したものの、投資有価証券が6億11百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は186億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億30百万円増加しました。流動負債の増加（前連結会計年度末比31億39百万円増加）は、主に買掛金が29億7百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少（前連結会計年度末比3億8百万円減少）は、主に長期借入金が2億75百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は131億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億66百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を13億47百万円計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は41.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、2025年5月15日に発表した予想から修正はしておりません。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、効率的な養魚用飼料の原料調達による利益率の改善などにより、予想を上回って推移しております。しかしながら、円安進行による原材料費の高騰、物価高による国内需要の低下および海外景気の下振れによる販売数量減少などが見込まれることから、現在、連結業績予想の精査を進めております。

今後、業績修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,156	2,512
受取手形及び売掛金	4,577	9,416
商品及び製品	1,983	2,086
仕掛品	2,234	2,128
原材料及び貯蔵品	2,163	2,686
その他	1,211	350
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	15,325	19,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,621	2,504
土地	1,798	1,800
その他(純額)	2,457	2,415
有形固定資産合計	6,877	6,720
無形固定資産	453	515
投資その他の資産		
投資有価証券	4,286	4,897
その他	1,606	1,423
貸倒引当金	△916	△907
投資その他の資産合計	4,976	5,414
固定資産合計	12,307	12,649
資産合計	27,632	31,829
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,527	5,434
短期借入金	4,906	5,642
未払法人税等	490	177
賞与引当金	170	167
その他	2,571	2,381
流動負債合計	10,665	13,804
固定負債		
長期借入金	1,820	1,545
退職給付に係る負債	1,878	1,904
その他	1,476	1,416
固定負債合計	5,175	4,866
負債合計	15,841	18,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	3
利益剰余金	7,252	8,389
自己株式	△246	△449
株主資本合計	10,424	11,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,366	1,797
繰延ヘッジ損益	△2	0
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	1,367	1,800
純資産合計	11,791	13,158
負債純資産合計	27,632	31,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	39,645	35,619
売上原価	35,091	30,435
売上総利益	4,553	5,184
販売費及び一般管理費	3,532	3,588
営業利益	1,020	1,596
営業外収益		
受取配当金	125	124
その他	225	227
営業外収益合計	351	351
営業外費用		
支払利息	74	77
その他	22	18
営業外費用合計	96	96
経常利益	1,275	1,851
特別利益		
投資有価証券売却益	280	87
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	280	87
特別損失		
固定資産除却損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	1,553	1,936
法人税、住民税及び事業税	511	482
法人税等調整額	63	106
法人税等合計	574	588
四半期純利益	978	1,347
親会社株主に帰属する四半期純利益	978	1,347

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	978	1,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	421
繰延ヘッジ損益	1	2
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	9
その他の包括利益合計	△138	433
四半期包括利益	840	1,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	840	1,781

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,547	22,066	39,613	31	39,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,246	1,247	—	1,247
計	17,548	23,312	40,860	31	40,892
セグメント利益	389	1,413	1,802	23	1,825

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,802
「その他」の区分の利益	23
セグメント間取引消去	39
全社費用(注)	△844
四半期連結損益計算書の営業利益	1,020

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	食品事業	飼料事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,465	18,150	35,615	4	35,619
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	1,153	1,156	—	1,156
計	17,467	19,304	36,772	4	36,776
セグメント利益又は損失(△)	724	1,682	2,407	△2	2,404

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない不動産事業です。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,407
「その他」の区分の損失(△)	△2
セグメント間取引消去	39
全社費用(注)	△847
四半期連結損益計算書の営業利益	1,596

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	576百万円	632百万円
のれんの償却額	4	18